

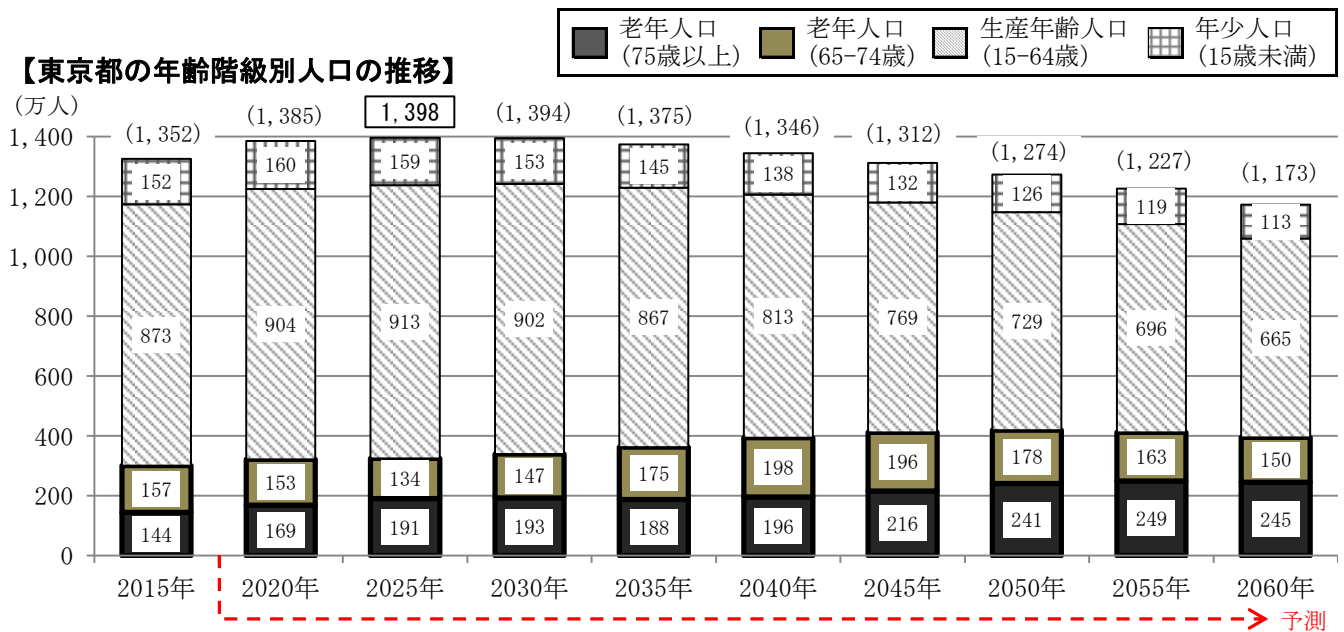
2060年までの東京の人口推計 - 「都民ファーストでつくる「新しい東京」」より-

- 平成27（2015）年の国勢調査による人口を基準に、2060年までの東京の人口を推計すると、東京の人口は、しばらく増加を続け、2025年の1,398万人をピークに減少に転ずる見込み
- 一方、2015年における日本全国の人口は1億2,709万人で、前回の1億2,806万人から約96万人の減少となり、大正9（1920）年の調査開始以来、初めて減少

1 都の年齢階級別人口

- 2015年の東京の高齢化率は22.7%であり、既に超高齢社会（高齢化率が21%超の社会）に突入
- 生産年齢人口は、2015年の873万人から2025年の913万人まで増加後、減少に転換
- 2011年から2015年の5年間の出生数は55万人だが、15～49歳の女性人口減少により徐々に減少

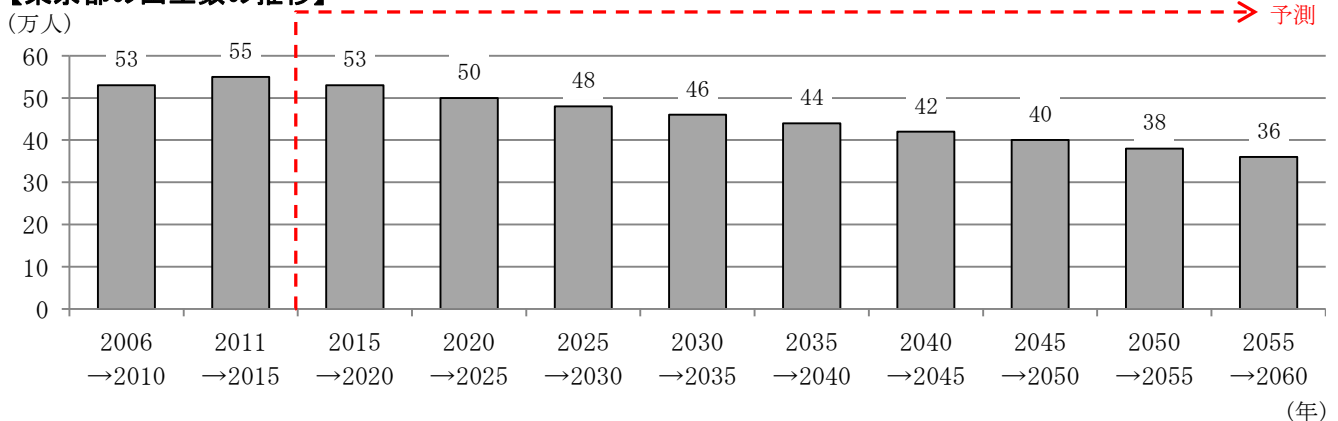
【東京都の年齢階級別人口の推移】



【東京都の高齢化率の推移】

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
高齢化率	22.7%	23.2%	23.3%	24.3%	26.4%	29.3%	31.3%	32.9%	33.5%	33.7%

【東京都の出生数の推移】

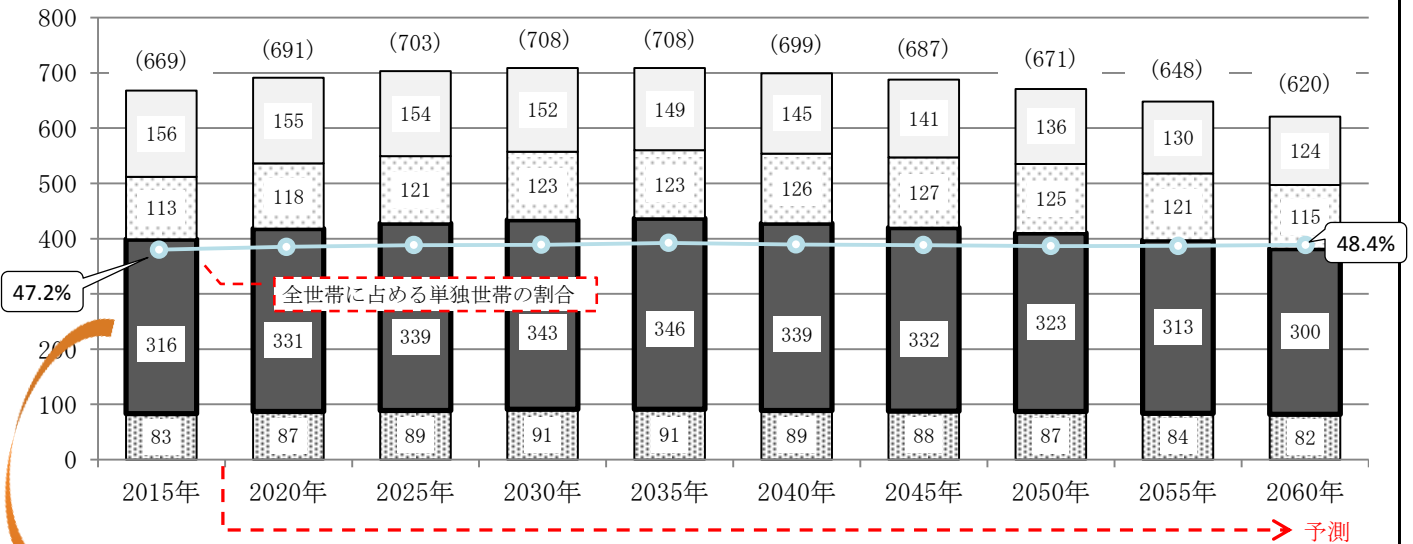


2 都の世帯数

- 世帯数は、2015年の669万世帯から2030年の708万世帯まで増加後、人口減少の影響により減少
- 高齢化の進行に伴い高齢世帯が増加。特に75歳以上の高齢単独世帯の増加が顕著

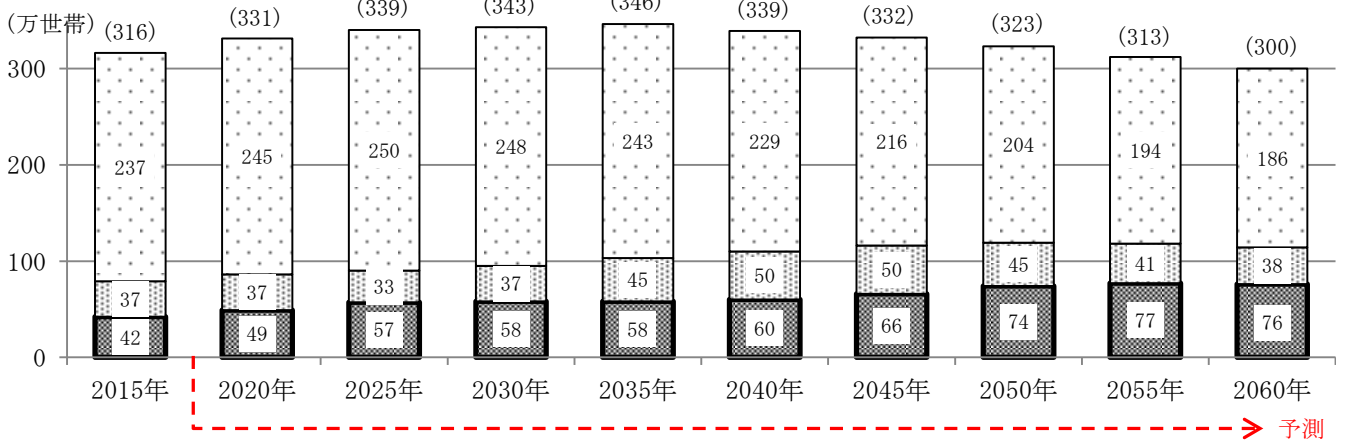
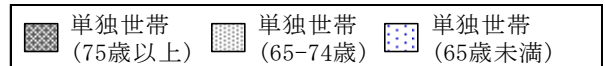
【東京都の家族類型別世帯数の推移】

(万世帯)



【東京都の世帯主の年齢階級別単独世帯の推移】

(万世帯)



【全世帯に占める単独世帯（75歳以上）の推移】

割合	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
全世帯に占める単独世帯（75歳以上）の割合	6.3%	7.1%	8.1%	8.2%	8.2%	8.6%	9.6%	11.0%	11.9%	12.3%